

● 町民の広場

夢

たくわんの思いを秘めて



大崎中学校 3年
松 永 聡 子

「大崎中学校、ゴールド金賞。」

私の今の夢は、今年の夏この言葉を二回聞くことです。

私は中学に入って吹奏楽を始めました。小学生の頃からピアノを習っていたわけでもなく、やりたい楽器があったわけでもありませんが、親しい先輩にさそわれ見学に行くたびに少しずつ吹奏楽という音楽の世界に興味を持ち始め現在にいたります。

現在、大崎中吹奏楽部は二年生十人、一年生二十六人の三十六人で活動しています。三年生が引退した今、改めて自分の未熟さに気付いた自分があります。

三年生が引退しての初めての合奏。

音色・音量・表現力・気力の違いにびっくりしました。テンポはバラバラ、指揮を見ないで楽譜にかじりつき、音を出すのがいっぱいはいっぱいで音に魂がこもってないというか、音が生きていませんでした。また、個性の強いメンバーをまとめるということにも苦労し、涙を流す日もありました。新チームになってから、W金賞受賞という夢をいくどなく無理だ叶う夢じゃないとあきらめたりもしました。そんなとき、昨年の夏、おとしの夏、を思い出します。

ずっとW金賞受賞が夢でした。一年生のとき、夏の祭典では金賞を受賞し、とても嬉しかったです。しかしコンクールでは銀賞受賞でした。昨年は、夏の祭典で銀賞、コンクールで金賞でした。毎年、嬉しさと悔しさを味わいました。コンクールが終わった後、先輩の引退、私たちにたくされた想いは『W金賞受賞』でじけちゃだめだと思いい立ち直れます。

楽器が違うのに指導してくださいだった先輩、落ち込んでるとき笑わせてくれた先輩、悩みを聞いてくれた先輩。部費を払ってくれる母、応援してくれる兄、姉、親戚、後援会の方々。たくさんの人々に支えられ、助けられ私は夢を追っています。

練習を休む日も他の人より多いけれども、必ずこの夢を叶えたいです。

今年は三十回目の記念すべき定期演奏会があります。その定演に華をそえることができるよう、胸張って引退できるように、笑顔になれる結果を伝えられるよう頑張りたいです。

先輩から先輩、そして私たちにたくされた想い・ブラボラっせ！〜呼べ!!感動の嵐を胸に、信頼できる仲間・尊敬できる顧問の先生と一緒にW金賞目指して、夏に向けて今日から頑張っていきたいです。



編集後記

明けましておめでとうございませう。新年を迎え気分を新たに、すべてのことに頑張っていきたいと思います。町民の皆様には日頃から議会に對しまして、いろいろとご指導・ご支援いただき感謝申し上げます。

さて、十二月定例議会は、町長選挙のため十一月下旬より十二月中旬まで、それぞれの委員会、本会議で審議を尽くして参りました。

新たに、「大崎町ポイ捨て等防止条例」が制定され、又、景気対策では、「大崎プレミアム付商品券事業補助金」が承認され、町民の皆様到现在ご利用いただいております。

国政においては、不景気による大幅な税収減を受けて、本町においても大変厳しい予算編成になりそうです。

三期目の東町政に、この町の将来を希望の持てる、そして住みやすいまちづくりに期待し、議会としても一生懸命取り組んで参ります。

今後とも広報委員会では、わかりやすい議会だよりの発行に努めて参ります。町民の皆様の紙面や議会に對するご意見、ご感想をお聞かせください。

広報編集委員 小野光夫

発行責任者 大崎町議会議長

阿野 二郎